

武庫川流域委員会様

自然環境と河川

西宮市

金山宗一

河川は、長い年月を経て、角のある石を削り取り丸い石に変え清流とともに河口へと運びながら、魚や水生物を育ててきたのです。

そのすばらしい自然環境を人間の身勝手な都合で悪化させたために河川環境が一変し生物の生命を脅かしているのです。その結果、15年後には人間を始め、生物が悪化した環境に苦しみ立ち往生する時期が必ず来るのです。

洪水も自然界が行なう大手術と言えます。完全に防ぐことはできませんがそのための対策は日頃から準備することです。災害の多くの原因は人間の身勝手な都合を最優先させた結果なのです。土砂の流失や流入また、汚水が日常的に流されても対応しないからです。年月とともに土砂の蓄積で河川は、半死状態となり機能を失っているのです。

清流とは水質、水温、水深、水速、水臭が重要な要素となり、魚や水生物は、その恩恵を受けて育ち、河川から河口と海が繁栄し、人に恵みを与え子孫へと続くのです。すばらしい河川にするため丸石の持ち出しは絶対禁止する事が必要です。河川床を深く掘り下げて川幅を広くし、受け石、肩石、胴石を造り瀬開きと深場作りを行なうのです。

現在の武庫川河川は、それらを無視した土木工事を主体に施工しているため大失敗しているのです。

堰を造り、河川を胴切りして水深は浅く、酸欠水と反吐路面です。ヘドロの川床に堰下は最悪のコンクリートブロック製品を敷き詰めているため魚の遡上も水の還流も阻害しているのです。県行政の失態です。コンクリートで魚道を造り、その魚道の水が干上がり何の役にも立っていないのです。そこで河川の中心部の土砂を深く取りその時出た丸石は、深場に積んで石間に水を通し、清流水とし魚や水生物の安心、安全、安住の環境作りを行なうのです。

西宮一、兵庫一、日本一の河川に早くしようではありませんか！
私の経験、知識、河川視察の実績により完全復活させる事です。武庫川を2-3年で鮎の友釣りの河川に復元させられます。今までの工事費用より安く仕上げることができます。よろしく

前略 樋日藤山市役所に出向いたところ 担当者局の川崎一氏
 「武庫川流域委員会 = エース NO.2」が置かれたので持ち帰り
 読みました。今から20数年ぶりの井原所議員のあり方
 何か行政に於いて意見を述べたかと尋ねられ、川の堤に桜を植え
 るかどうかと話した事を思い出した。地域作りには美・遊
 心の環境作りを話した事があり。その数年後瀬戸内海から日本
 海に桜回廊を果敢に打ち出された事を思い出した。
 又その後地域の中で地域活性化委員会が設置された(杉本
 中心一部 武庫川にも触れ、藍本～草野～南谷代～福水江(玉津川)
 を学びの川、散策の川とし、右岸、左岸、片方でも歩き通せる標を
 してよとの結果を果敢局初め市部局関係議員(各方面)に報告書
 を配布した事を思い出した(杉本 夢ある未来作りはよとの世に

平成22年3月8日

藤本市

酒井朝洋